

背景・目的

慢性 C 型肝炎ウイルス (HCV) 感染の治療ガイドラインでは、ペグインターフェロン (PEG-IFN) α -2b または PEG-IFN α -2a とリバビリンの併用が推奨されている。しかし、これらのレジメンの十分な比較はなされていない。

リバビリン併用下にて標準量の α 2a、 α 2b と実験的に用意した低用量の α 2b の 3 つのレジメンについて安全性と有効性を比較

対象患者

追跡期間：2004年3月～2006年6月

患者：アメリカ国内118施設の3070人の患者

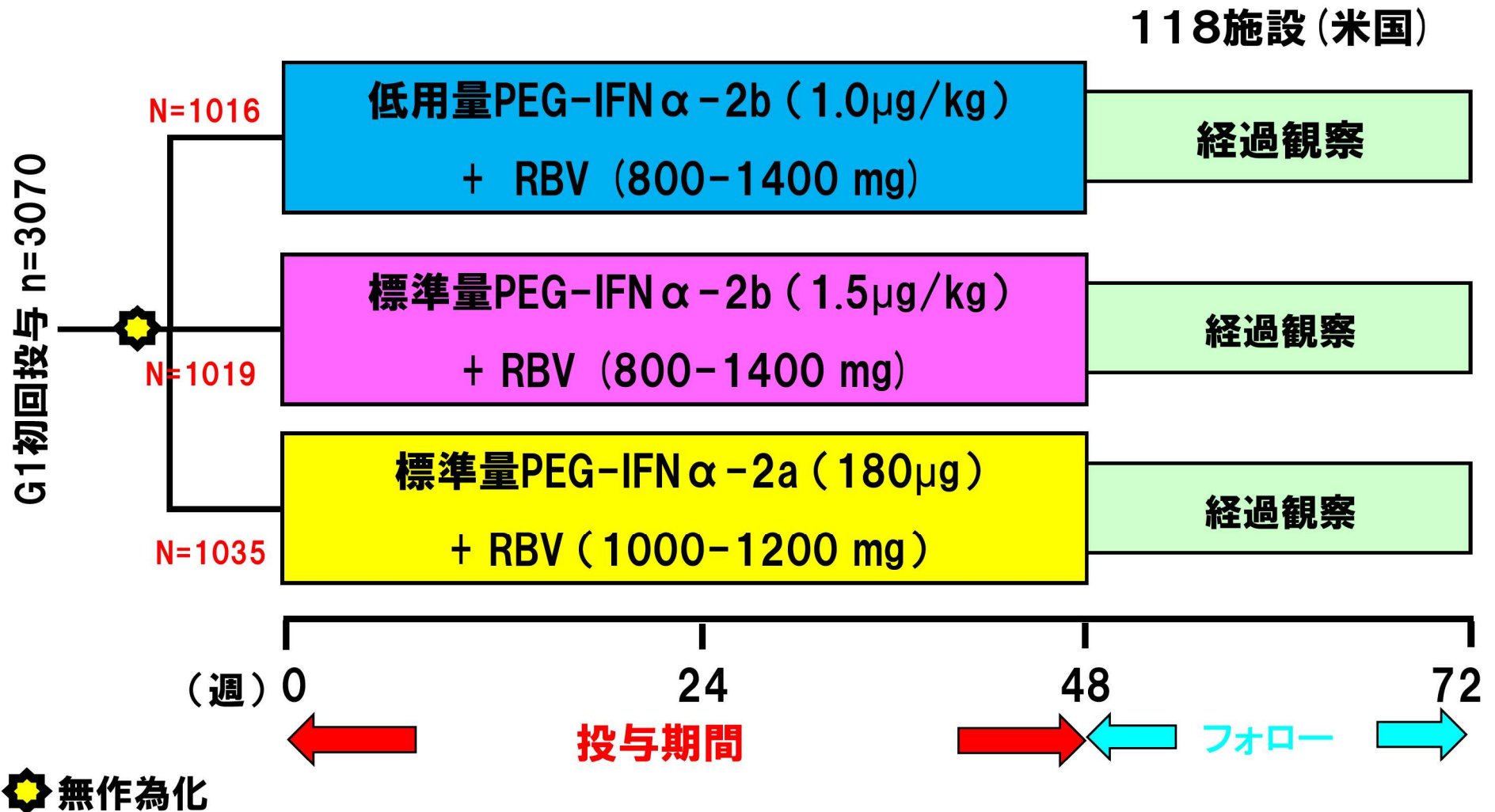
18歳以上

HCV遺伝子型：1型

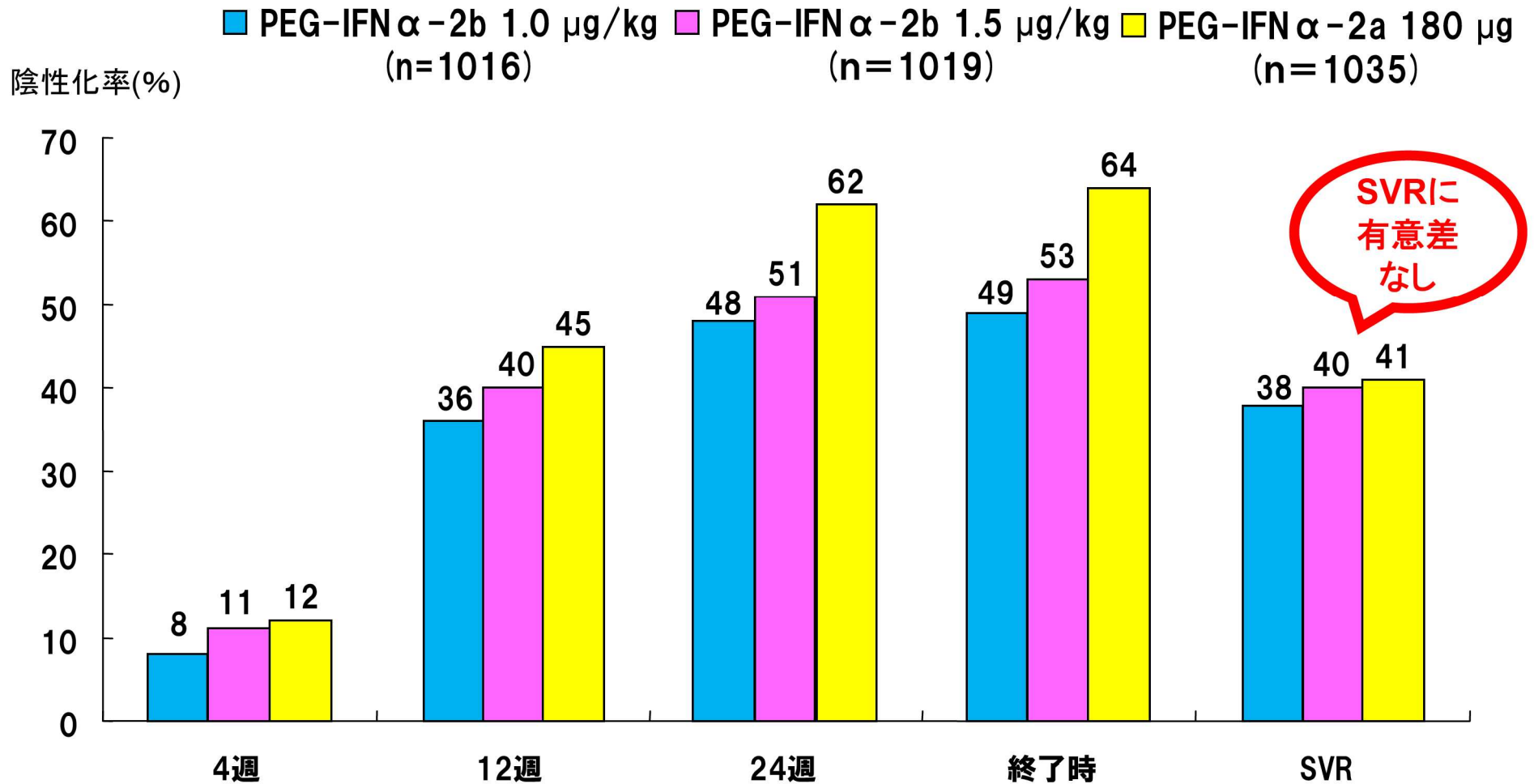
血漿HCV-RNA濃度が検出可能

HCV感染に対する治療歴なし

方法



結果-陰性化率(Table2)



結果-ウィルス動態(治療反応性) (Table3)

